

第1章 学校の体育活動中の事故防止に関する基本的な考え方

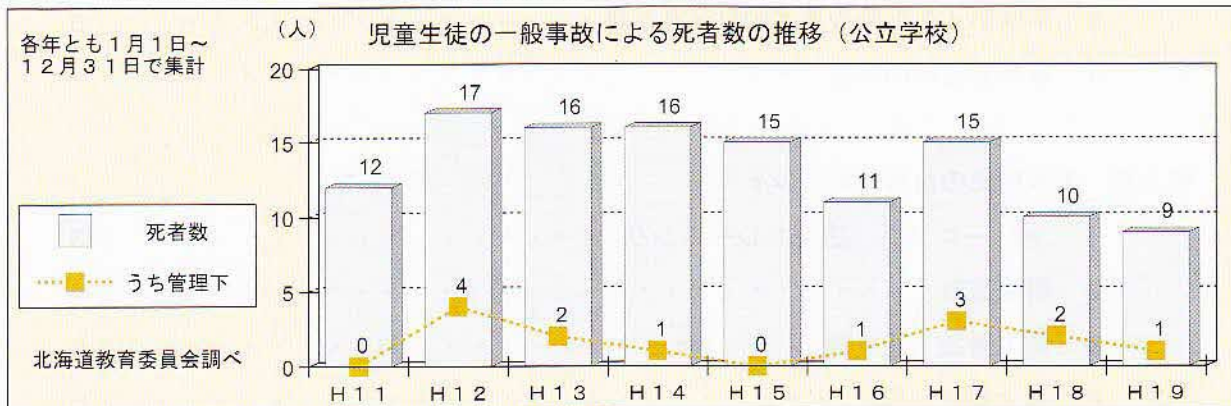
1 本道の学校における体育活動中の事故の現状

(1) 児童生徒の一般事故死の状況

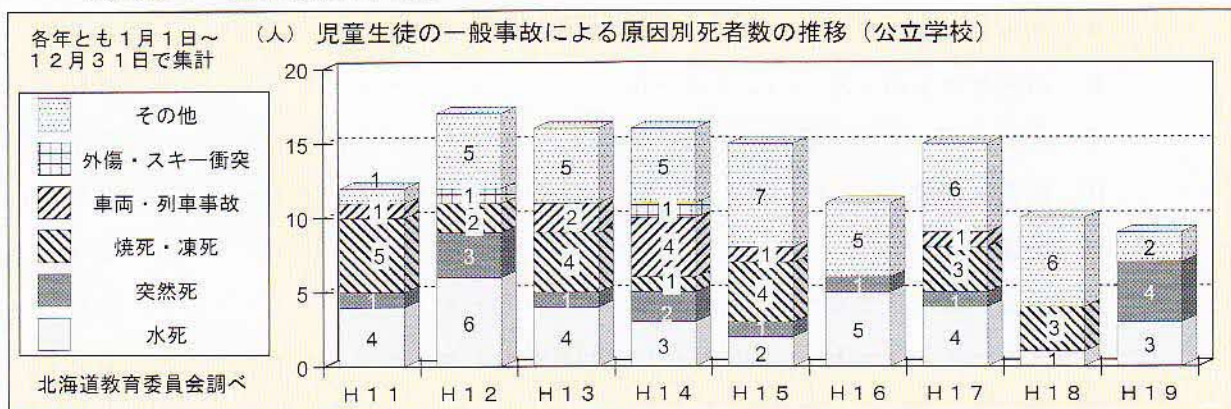
ア 児童生徒の一般事故による死者数の推移

平成11年から19年までの道内公立学校児童生徒の一般事故による死者数は、増減を繰り返しており、最近の3年間では減少の傾向にある。

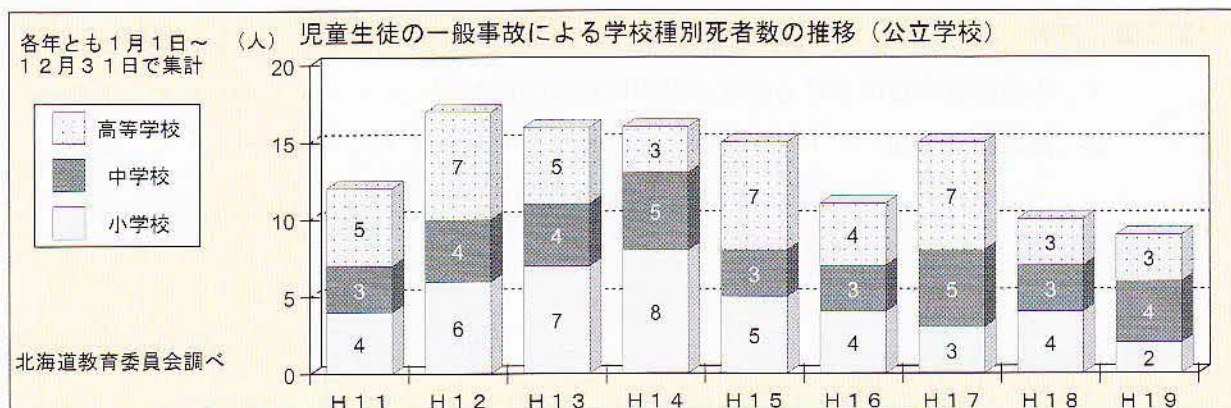
なお、学校管理下における死者数も同様の傾向になっている。



原因別死者数は、各年によって異なる。また、死亡の原因が特定できない「その他」の数も毎年一定程度見られる。



学校種別の死者数は、各校種とも年ごとに増減が見られ、最近の3年間では、高等学校の死者数が減少の傾向にある。



イ 体育活動中の事故における死亡事例

平成11年から平成19年までの道内公立学校の体育活動中（学校管理下）の事故における主な死亡事例は次のとおりである。このうち、4人が突然死で死亡している。

学年	性別	発生場面	事故の概要
中学1年	男	部活動 (グラウンド)	サッカー部の活動中、走っている最中に突然倒れ、直ちに病院に搬送されたが死亡した。
中学2年	男	部活動 (学校敷地)	卓球部の活動中、ウォーミングアップのためランニングを行い、その後体の不調を訴え、病院に搬送されたが死亡した。
中学3年	男	体育授業 (体育館)	バスケットボールの試合を行った後、授業終了のため整列した際、意識を失い倒れた。病院に搬送され治療を受けたが、4日後に死亡した。
高校1年 (全日)	女	体育授業 (学校敷地)	校舎の外周歩道を3周(約2.5km程度)走り終え、休息していたところ意識を失い、病院に搬送され治療を受けたが、翌日に死亡した。
高校 (全日)	男	学校行事 (スキー場)	スキー遠足でスキー場を滑走中に仰向けに転倒し、その後意識を失った。直ちに病院に搬送されたが死亡した。
高校2年 (全日)	男	部活動 (グラウンド)	サッカー部の活動中、練習試合の最中に突然倒れ、直ちに病院に搬送されたが死亡した。
高校1年 (全日)	女	部活動 (河川)	ボート競技に出場中、スタート前の練習を行っていた際に2人乗りボートが転覆し、行方不明になった。翌日発見され病院に搬送されたが死亡が確認された。
高校2年 (全日)	男	部活動 (合宿先)	テニス部の合宿練習中に倒れ、直ちに病院に搬送されたが死亡した。

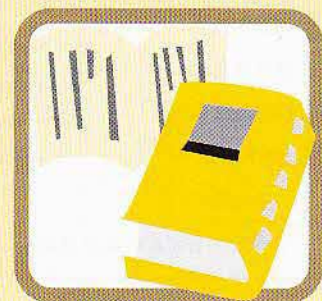
突然死とは

WHO（世界保健機関）では、突然死を「発症から24時間以内の予期せぬ内因性（病）死」と定義しています。

突然死は、一般的に急性心不全、急性心停止又は特別な外因が見当たらない頭蓋内出血（運動・競技中に起きた頭蓋内出血でも、特別な外因（事故）が見当たらない場合を含む。）等が直接死因とされた病死です。（独立行政法人日本スポーツ振興センター「学校における突然死予防必携」より）

突然死を防ぐための10ヶ条

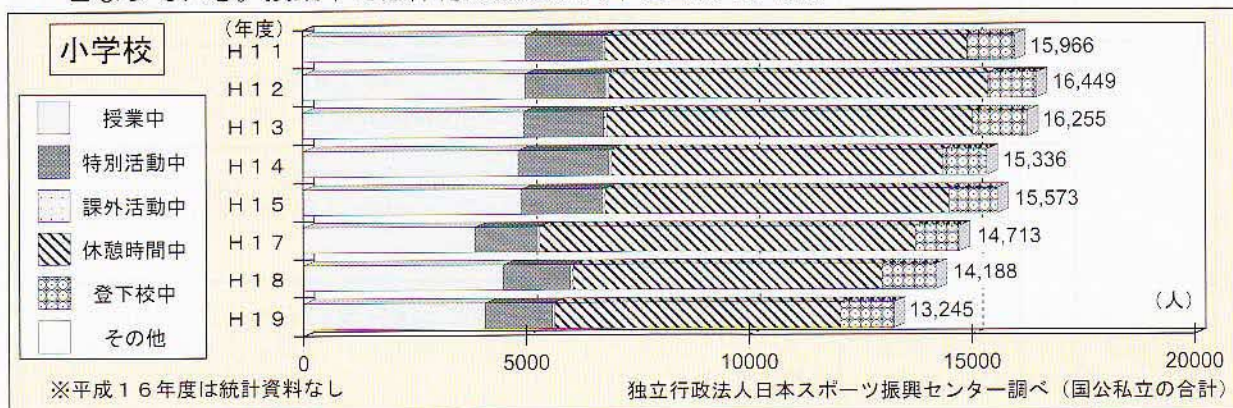
- ◆ 基本的な注意事項
 - ① 学校心臓検診（健康診断）と事後措置を確実にを行う。
 - ② 健康観察、健康相談を十分に行う。
 - ③ 体調が悪いときには、無理をしない、させない。
 - ④ 運動時には、準備運動・整理運動を十分に行う。
- ◆ 疾患のある（疑いのある）子どもに対する注意事項
 - ⑤ 必要に応じた検査の受診、正しい治療、生活管理、経過観察を行う。
 - ⑥ 学校生活管理指導表の指導区分を遵守し、それを守る。
 - ⑦ 自己の病態を正しく理解する、理解させる。
 - ⑧ 学校、家庭、主治医間で健康状態の情報を交換する。
- ◆ その他、日ごろからの心がけ
 - ⑨ 救急に対する体制を整備し、充実する。
 - ⑩ 健康教育を充実する。



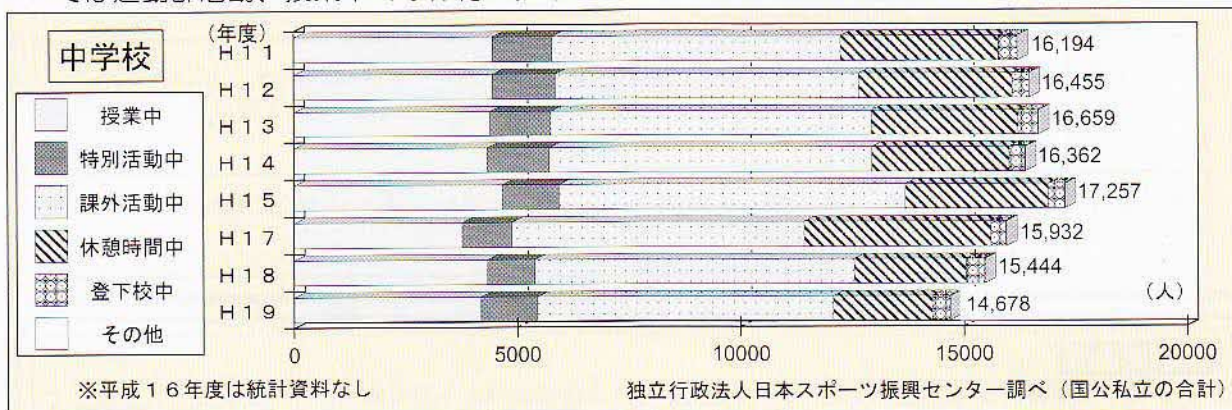
(2) 学校管理下における一般事故による負傷の状況

本道における平成11年度から平成19年度までの学校管理下における一般事故の発生状況は、独立行政法人日本スポーツ振興センターの統計によると、次のとおりである。

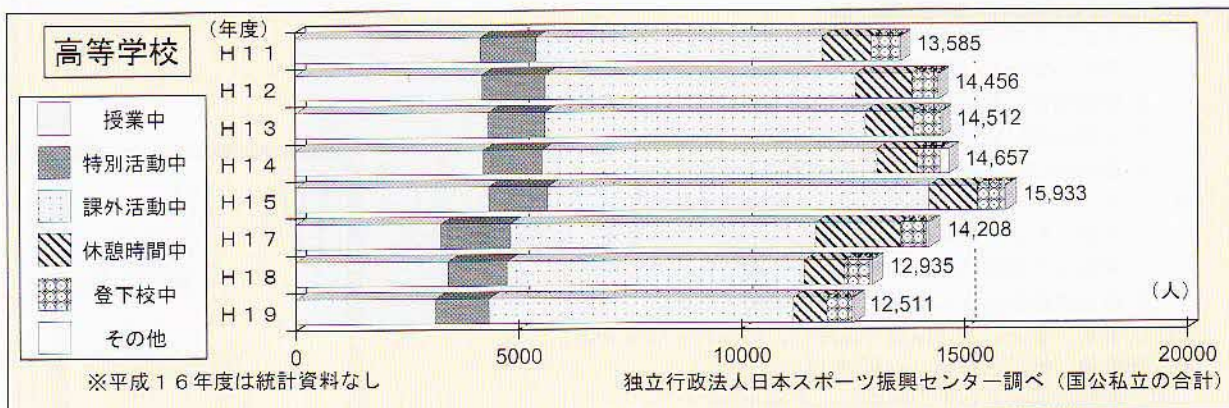
小学校では、年間13,000人を超える児童が負傷しており、このうち、休憩時間中の事故が最も多く、どの年度も全体の約50%を占め、次いで授業中、学校行事などの特別活動中となっている。授業中では体育の授業が大半を占めている。



中学校では、年間15,000人前後の生徒が負傷しており、このうち、課外活動中の事故が最も多く、全体の約40%以上を占め、次いで授業中、休憩時間中となっている。課外活動では運動部活動、授業中では体育の授業が大半を占めている。



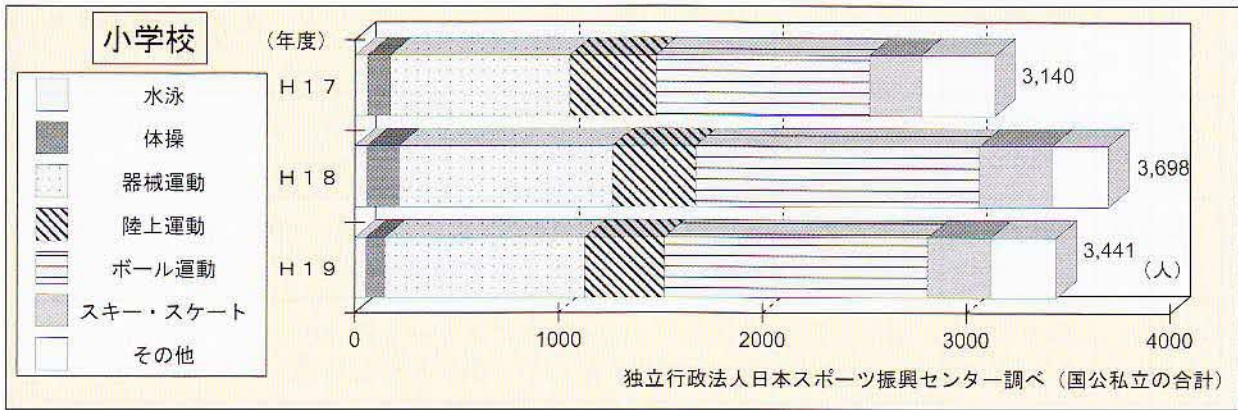
高等学校では、年間13,000人前後の生徒が負傷しており、このうち、課外活動中の事故が最も多く、全体の約50%を占め、次いで授業中となっている。課外活動では、中学校と同様に運動部活動、授業中では体育の授業が大半を占めている。



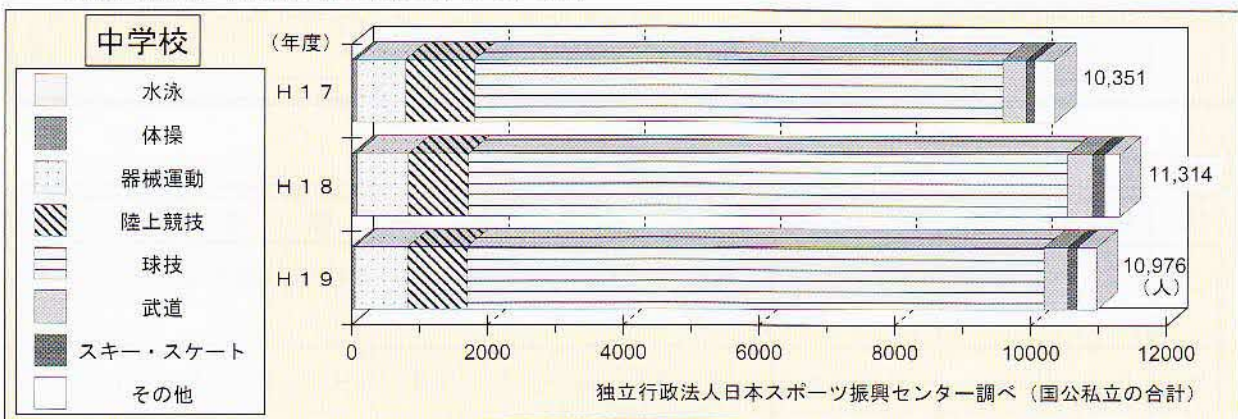
(3) 体育活動中の事故の発生状況

本道における平成17年度から平成19年度までの体育活動中における一般事故の発生状況は、独立行政法人日本スポーツ振興センターの統計によると、次のとおりである。

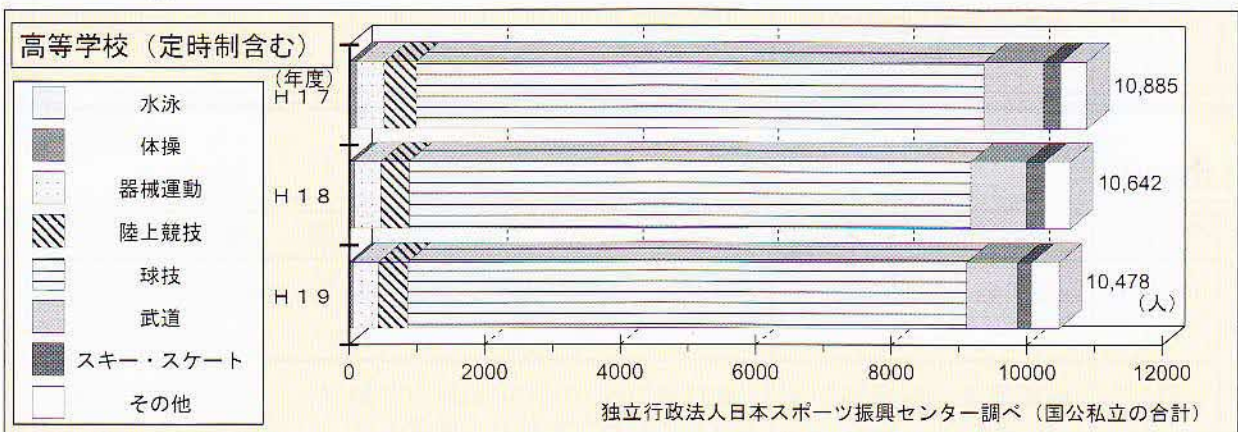
小学校では、バスケットボールやドッジボールなどのボール運動における負傷が最も多く、次いで器械運動、陸上運動の順になっている。



中学校では、バスケットボールやバレーボールなどの球技における負傷が最も多く、次いで陸上競技、器械運動の順になっている。



高等学校では、球技における負傷が最も多く、次いで柔道などの武道、陸上競技の順になっている。



(4) 体育活動中（学校管理下）の事故事例

平成19年度に道内の学校で発生した体育活動中（学校管理下）の主な事故事例は下記のとおりである。

【小学校】

学年	性別	発生場面	負傷の程度	事故の概要
1年	女	体育授業 (体育館)	右上腕骨折	平均台を歩いているとき、誤って床に落下し、肘を打ち負傷した。
2年	男	体育授業 (グラウンド)	左上腕骨折	鉄棒の練習をしているとき、手が滑り地面に落下し、肘を打ち負傷した。
4年	男	クラブ活動 (ワークスペース)	左手首骨折	卓球クラブの活動中、卓球台を閉じてたたもうとした際、卓球台が倒れ、左手首を負傷した。
4年	女	体育授業 (スケートリンク)	顔面骨折	スケートの練習後にスケート靴を脱いでリンク内にいた際、足が滑り転倒し、顔面を打ち負傷した。
5年	男	体育授業 (スキー場)	右大腿部骨折	スキー学習でコースを滑走中、バランスを崩して転倒し、立木に衝突し、負傷した。
6年	男	体育授業 (プール)	右足指骨折	水泳のばた足の練習をしているとき、足が他の児童の背中に当たり、右足小指を負傷した。

【中学校】

学年	性別	発生場面	負傷の程度	事故の概要
1年	男	体育授業 (体育館)	右膝筋・聴断裂	柔道で技をかけたとき、倒れた相手の体が自分の右足の上になり、右膝を負傷した。
2年	男	部活動 (グラウンド)	顔面骨折	野球部の活動中、他の生徒が振ったバッドが顔面に当たり、負傷した。
3年	女	特別活動 (グラウンド)	胸部骨折	体育祭の練習中、「人間タワー」の3段目から転落し、負傷した。
3年	男	体育授業 (体育館)	前歯骨折	バドミントンのゲームをしているとき、ダブルスを組んでいた生徒のラケットが顔面に当たり、負傷した。

【高等学校】

学年	性別	発生場面	負傷の程度	事故の概要
1年	男	部活動 (グラウンド)	頸部骨折	ラグビー部の活動中、試合で相手の選手にタックルした際、頸椎を負傷した。
2年	男	体育授業 (体育館)	左足首骨折	跳び箱で前方倒立回転跳びの練習をしているとき、着地に失敗して左足首を捻り、負傷した。
3年	男	特別活動 (グラウンド)	右大腿部骨折	ソフトボールの試合中、飛んできたボールを捕球しようとして、他の生徒と衝突し、負傷した。